

としょかん つか
図書館を使った
しら がくしゅう
調べる学習コンクール

しら がくしゅう
調べる学習の
すす かた
進め方

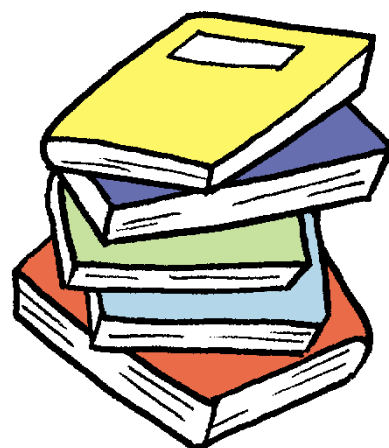


しら がくしゅう 調べる学習のステップ

① しら ほうほう かんが
調べる方法を考える

② しら きろく
調べて記録しよう

③ さくひん
作品にまとめよう

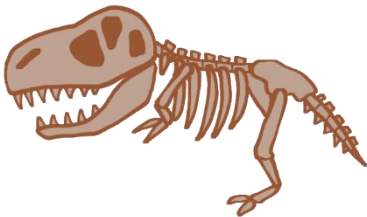


ステップ① ^{しら}調べる方法^{ほうほう}を^{かんが}考える

^{としょかん}図書館で^{しら}調べる以外にも、いろいろな^{しら}調べ方^{かた}があります。

^{じぶん}自分が^し知りたいことを^{しら}調べるには、どんな方法^{ほうほう}があるのか、
^{かんが}考えてみましょう。

^{としょかん} ^{しら} 図書館で調べる 	^{としょかん} 図書館には「辞典」や「図鑑」など調べるための^{ほん}本がたくさんあります。 ^{じぶん} ^{しら}自分が調べるテーマについて書いてある^{ほん}本^{さが}を探して、 その^{ほん}本でわかったことやどうしてだろう?と思^{おも}ったことを ノートなどに書^かいておきましょう。
インターネットで^{しら}調べる 	^{せかいじゅう} ^{じょうほう}世界中の情報^とがの^おっていたり、遠^{ひと}くの人や場所^{ばしょ}の様子^{ようす} を見^みることができます。 △ インターネットの^{じょうほう}情報^{なか}の中には、 まちが^{じょうほう}っていたり、あやしい情報^{じょうほう}もあります。 <u>おとな ^{ひと}大人の人といっしょに^{しら}調べましょう</u>
^{かんさつ} 観察する	^{しゃしん} ^と写真を撮^とったり、ノートなどに^{きろく}記録^きすると、 ^{いま}今^きまで気づ^きかなか^{はっけん}ったことを発^{はっけん}見^きできます。

インタビューする ほか ひと ねが (他の人)にお願いをして はなし き 話を聞くこと)	ほん ひと 本ではわからなかったことなどを、くわしい人に聞いて みましょう。 ほん あたら じょうほう おし き 本より新しい情報を教えてもらえたり、聞くことで あたらし はっけん 新しい発見があるかもしれません。 ◎インタビューの方法 ・くわしい人に会いに行き話をする ・くわしい人にお手紙やメールを送る
はくぶつかん しりょうかん 博物館や資料館へ 行く 	ほんもの ほんもの つく てんじ 本物や本物そっくりに作ったものなどが展示されて いたり、れきし せつめい 歴史などがわかりやすく説明されています。 ◎こんな場所でも調べられます ・どうぶつえん すいぞくかん しょくぶつえん 動物園・水族館、植物園 ・かがくかん 科学館
実験する	ほん しら じぶん かんが じっけん 本で調べたことや自分が考えたことを実験してみる と、じぶん よそう たし 自分の予想があっているかどうか確かめることが できます。

いろいろな方法で確かめると、自分が知りたいことだけでなく、
あたらし はっけん
新しい発見もあるかもしれません。

また、としょかん ほん つか しら とき さつじょうあつ
図書館の本を使って調べる時は2冊以上集めて、
くら
比べてみましょう。

ステップ② ^{しら}調べて^{きろく}記録しよう

^{しら}調べてわかったことやどうやって^{しら}調べたのかをノートに^か書いたり、
^{きろく}記録カードを^{つく}作ってみましょう。

^{さいご}最後に^{じぶん}自分が^{しら}調べたことをまとめるときに、とても^{やく}役に立ちます。

◎ノートや^{きろく}記録カードに^か書いておくこと

- ・いつ^{しら}調べたか（〇月〇日）※^{かんさつ}観察するときは^{じかん}時間・^{てんき}天気も^か書いておく
- ・調べたときに^{つか}使った^{ほん}本のタイトルや^か書いた^{ひと}人の^{なまえ}名前
- ・わかったこと・^き気づいたこと
- ・^{しら}調べに^い行った^{ばしょ}場所の^{なまえ}名前

記録カードの^{つく}作り方

調べたいこと	
わかったこと	^{しら} 調べた ^ひ 日：〇月〇日
^{つか} 使った ^{しりょう} 資料（ ^{ほん} 本）	^{ほん} 本の ^{なまえ} 名前： ^か 書いてあったページ：

◎こんな^{きろく}記録の^{ほうほう}方法もあります

- ・イラストを^かいて^{きろく}記録する 
- ・^{しゃしん}写真をとっておく （^{ほか}他の^{ひと}人や^{ほか}他の^{ひと}人の^{もの}物をとる^{とき}時は、
^{かなら}必ず^{ひと}その^{しゃしん}人に^き写真を撮って^きいいかを聞きましょう。）

ステップ③ ^{さくひん}作品にまとめよう

【^{ほうほう}どんな方法でまとめる？】

○ノートやレポート^{ようし}用紙^{つか}を使う

^{ひょうし}表紙や^{もくじ}目次をつけて、^{ほん}本のようにまとめることができます。

ホッチキスやテープでとめたり、ポケットクリアファイルに書いた用紙を入れていってもかまいません。

○^{おお}大きな紙（^{かみ}もぞう紙・^しがよう紙など）を使う

1枚^{まい}で^{しら}調べたことをたくさん^か書くことができます。

ポスターや「^{しんぶん}〇〇新聞」などを^{つく}作ることができます。

△ B4 サイズまで^やか^ぎ八つ切りサイズで^{さくひん}作品を作^{つく}ってください。

（^{おお}大きさは^{ひと}おうちの人といっしょに^{かくにん}確認してください）

○パソコンやタブレット^{つか}を使^{さくせい}って作^{つく}成^{せい}する

^{もじ}文字のデザインを^お変えたり、^{しゃしん}写真などを^す好きな^{おお}大きさにすることが
できます。

△ ^{もじ}文字の^{おお}大きさは11 ^{いじょう}ポイント以上で^{つく}作りましよう。

【書いていく順番】

最初 さいしょ	① 調べようと思ったきっかけ ② 調べる前に考えたこと（予想したこと） ③ 調べた方法
次 つぎ	④ 調べてわかったこと
終わり おわり	⑤ 予想とちがうところがありましたか？ ⑥ 調べた後の感想
完成 かんせい	⑦ 調べるときに使った本などを最後のページに書きましょう。 （「参考文献」といいます） ⑧ 表紙に書くタイトルを決める ⑨ 目次を作る（※本のように作品を作る人だけです） ⑩ 応募カードを作品にはる

【すてきな作品を作るには】

- ・みんながあなたの作品を読みたいと思うようなタイトルをつける。
- ・本やインターネットに書いている言葉をそのまま書かない。
必ず疑問に思ったこと、調べた方法、わかったことなどを
自分の言葉で書くこと。
- ・イラストをかいたり写真をはる
- ・地図やグラフを書いてみる
（文章で書くと長くなったり、わかりづらい時に使ってみましょう）
- ・自分が一番伝えたいところに線を引いたり、色を変えて強調させる。

【作品を作るときに注意すること】

●本の^{ほん}中の^{なか}文^{ぶん}章^{しょう}をそのまま書^かくときは「^{かぎかっこ}」（かぎかっこ）をつけましょう。

書^かいた^{ひと}人の^{ぶんしょう}文^{ぶん}章^{しょう}をそのまま写^{うつ}して、自^じ分^{ぶん}が考^{かん}え^がたよう^かに書^かいてはいけません。

●「^{かぎかっこ}」（かぎかっこ）をつけた^{ぶんしょう}文^{ぶん}章^{しょう}を書^かくときは、ど^{ほん}の本^{ほん}から書^かいたの^かがわ^かかるよう^{しゅってん}に「出^{しゅ}典^{てん}」を必^かず書^かきましょ^うう。

※出^{しゅ}典^{てん}とは…書^{しょ}名^{めい}、著^{ちよ}者^{しゃ}名^{めい}、出^{しゅ}版^{ぱん}社^{しゃ}（発^は行^{こう}したと^{しゅ}ころ）、出^{しゅ}版^{ぱん}年^{ねん}、引^{いん}用^{よう}したペー^じジ^など^のこ^とです。

本^{ほん}の最^{さい}後^ごのペー^じジ^にま^とめ^て書^かいてい^る「奥^{おく}付^{づけ}」を^{さが}探^かして書^かきましょ^うう。

保護者の方へ



※ 調べるときに使った本など（参考文献）の書き方は、公益財団法人図書館振興財団のホームページ <https://concours.toshokan.or.jp/concours> の「参考・引用文献リストの書き方」を御覧ください。「参考・引用文献リスト用紙」をダウンロードすることができます。

「調べる学習の進め方（高学年）」作成時に参考にした資料

・『調べるって、おもしろい！マンガでわかる小学生の調べる学習ガイド』（岩崎書店）
公益財団法人図書館振興財団・監修、岩崎書店編集部・編著

※この資料は甲西図書館で所蔵しています（夏休み期間は館内閲覧のみ）